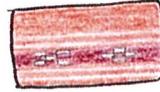


～ おすすめお土産(品物編)～

ミンサー織



かつて女性から男性に対して思いを込めて贈ったのがミンサーだと言われています。柄の特徴として、五(五)が「いつ」を表し、四(四)が「世(よ)」を意味します。短い横縞を連続させる「ヤシラム(ムカデの足)」柄は、「足しげく」にちなむ。よって「いつの世までも足しげく私の元に通ってください」という意味があります。「藍」を何度も重ねて染めることから、「愛を重ねて」と言われています。

ミンサー工芸館 — みねや工房の花織りミンサーと比べてやや大ぶり、渋くシンプルな色合いは、和服にも美しく決ります。

[登野城 909 / (営) 9:00-18:00 / 定休日なし / TEL: 0980-82-3473] **体験あり!!**

みねや工芸館 — 伝統手織り物の歴史から製作工程までを展示。はた織り見学や染織体験など見聞、体験ができます。

[新川 1129-1 / (営) 12:30-18:30 / 定休日なし / TEL: 0980-88-8287] **体験あり!!**



ミンサーかりゆしウェア — 沖縄の夏の風物詩「かりゆしウェア」特に人気が高いのが、ミンサー柄のかりゆしウェア! シャツのポイントとしてさり気なく使われていて、上品な印象があります。クルビズで着用すれば人気者?

琉球グラス

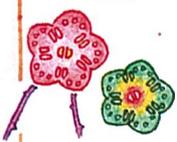


始まりは、太平洋戦争後の資源難のため、アメリカ軍基地で捨られたコーラやビールの空き瓶を溶かして再生したことから始まった品です。息を吹き込むと、白い泡、ほい気泡ができて、とても美しく進化しています。

グラスアイランド — 泡を含んだ美しい色合いと、ほろりとした独特の形で沖縄お土産として高い人気を誇ります。小物から食器まで幅広く揃っています。(ガラス体験もできます)

[平得 178 / (営) 10:00-18:00 / 定休日◎ / TEL: 0980-88-2925]

「紅型」



沖縄で作られている染色品の一種。紅という字を見て、紅色の染物と思ったら大間違いです! この「紅」とは色の総称なのです。もちろん他の色(緑、青、黄色等)も使っています。型は文様という意味です。紅型の技法には、一般的な型染め、筒描き、藍染め(漬染め)があります。

地色につくぎなどの天然染料を使用する事が、つくぎで染めたら黄色となります。昔から黄色は高貴な色で着用できるのは王族のみと決まっていたようですが、それは中国の影響と言われています。黄色の他は赤地や白地のものもあります。

柄色は顔料を色止めのために豆汁で溶いたものを使用します。赤はクチニール(虫の一種)から取るほか、緑などは顔料化した藍などの混色で作ります。その隈取り(色の上から濃い色のぼかしを入れること)をする。これによって柄が引き締まります。紅型の大きな特徴です。

小物・アクセサリ



ヤフィタ — 世界最大級の豆の実で作った「モダマのキーホルダー」や「夜光貝のストラップ」、
「シャコ貝ランプ」など、手作りの小物たくさん揃っています。モダマはクワールのルームキーに
使用していますよ。

[大川10-1/(営)10:00-19:00/不定休/TEL:0980-83-8689]

貝がらさん — 手作り貝細工のお店。真、白で小さな「シャコ貝イヤリング」など... オーナーの
おじさんとおしゃべりも楽しい!

[大川252/(営)不定(いつも15:00頃には空いています)/不定休/TEL:090-7740-8627]

ストーンヘッジアイランド — オリジナルの「ミンサーアクセ」や「貝のアクセ」、「フォトフレーム」など
可愛い商品が揃っています。

[大川206/(営)10:00-20:00/不定休/TEL:0980-83-6374]

陶芸・焼き物体験



石垣焼窯元 — 澄みきった海をイメージする目が覚めるような「青」が美しい石垣焼。

「石垣焼の陶芸体験」や「シーサー作り体験」なども行っています。

[名蔵1356-71/(営)9:00-18:00/定休日なし/TEL:0980-88-8722]

アンパル陶房 — 海に面した「アンパル鳥獣保護区」の一角にある工房。作家(宮良断氏)と
(宮良ゆうな氏)による石垣の土を使った温かみのある美しい焼き物です。

[新川1134(宮良農園内)/(営)13:00-日没迄/定休日なし/TEL:0980-83-4077]

かえる屋(シーサー作り体験) — クワールから徒歩5分! 夜遅くまでやっているの、体験の後
はピザをつまみながらビール乾杯も良い!

[大川15-1/(営)9:00-20:00/不定休/TEL:090-5304-1013]



たまに見つける、赤瓦屋根のシーサーくん! 昔はたくさんいました。もともとは、瓦屋根の
間を埋める「シツクイ」の職人さんが、采った「シツクイ」を使いサービスで作って家の
完成祝いであげたことが始まりだそうですよ。シャレのきいた職人さんですね。



石取當 — 「石取當」(いしがんと、いしがんどう、せうかんどう)って、よく沖縄の街に
見かけるといいますね。それは、市中を徘徊する魔物「マジン」は直進する性質
を持ったため、丁字路や三叉路などの突き当たりにはぶつかると向かいの家に入ってしまうと
信じられている。そのため、丁字路や三叉路などの突き当たりには石取當を設け、魔物の侵入
を防ぐ魔よけとする。魔物は石取當に当たると砕け散るとされる。

島ぞーり(ビーチサンダル)

お土産の店タイラ(島ぞうり) — シンプルで履きやすくてリーズナブルで丈夫! 石垣島滞在中は一足あると重宝しますよ。

[大川245/(営) 9:00-21:00/定休日なし/TEL:0980-82-2991]

ホテルパートナー石垣島(キョサン) — もともとは漁師が履いていた「キョサン」。カラフルな色揃えです。今や芸能人も愛用するほどの人気ぶり!

[八島町1丁目8-5/無休/TEL:0980-87-7400]

南国屋(タトゥ島ぞうり)

[美崎町2 大和ビル1F/繁忙期GW・夏休み: 8:00-21:00、通常期間: 9:00-19:00/定休日(水)/TEL:0980-83-3362]

ザ・ゴーヤーショップ(タトゥ島ぞうり)

[登野城1/(営) 午後から19:00/不定休/TEL:0980-87-8580]

石垣島コスメ

沖縄県産の植物を使い、自然素材、無添加にこだわっている沖縄コスメが注目を集めています。中でも「月桃」保湿、美白、抗菌、抗炎症、消臭作用があり、沖縄コスメの「スター」的存在です。

「カフェ・アヴァンセ」(月桃オールインワンジェル) — 人気のスキンケア商品「オールインワンジェル」や石垣島の植物を使用した「アロマリック」、「手作り石鹸」など、地元客、観光客問わずリピーターの多いお店です。

[大川198-8/(営) 9:30-18:00/定休日(水)/TEL:0980-82-1003]

THE 沖縄あるある PART4

あいづちは「だからよー」

例: 「なんで仕事に遅れたの?」「だからよ〜」(気話終了...)

標準語の「だからよ〜」では一般的にその後の展開がありますが、沖縄の「だからよ〜」にはその後の展開がない場合がほとんどです。

「だからよ〜」は単なる相槌だったり、あるいは肯定も否定もないテーゲー語(アバウトの意味)的な存在。

「そうそう、そうだね〜」あるいは「そうなんだよ〜(でもどうしてこうなったんだがよくわからないさ〜)」という感じです。

「天気がいいね〜」「だからよ〜」といった普通のあいづちとしても使えるので、どう相づちを打ていいかわからないときにも万能選手! 昌頭のような言い逃げめの意味合いでも使えるので便利です!